

考古学と武蔵武士

今回のお話は、中世社会における生活の営みは地域や生活基盤の異なりなどにより、さまざまな違いをみせ、陶磁器類の食のための用具あるいは住まいの用具といった様々な生活用具や都市・村と町・城と館など生活の諸相によって遺構・遺物を考古学的に解明することができる。

そのための編年表などは資料の通りであるが、特に北武蔵の「よくわからない11世紀」について武士の拠点と寺院、交通の要所と武士の拠点、出土遺物にみる特徴といった切り口で考古学的に武蔵武士の拠点をみる内容でした。

その一つとして高坂から浅羽にかけての中世遺跡の見学を実施しました。



弁天沼と阿弥陀堂跡

埼玉県東松山市大字岩殿字油免1051周辺

弁天沼



弁天沼（鳴かずの池）

昔、坂上田村麻呂が
岩殿山に住む悪竜を退
治し、首を埋めたところ
にこの弁天沼ができた
といわれ、カエルが
すみつかないところか
ら「鳴かずの池」と呼
ばれたと言い伝えられ
ています。

東松山市観光協会



正面は弁天島



弁天堂と弁財天の由来を記す石碑



弁天堂(中には弁財天が鎮座)



弁財天



弁財天の由来を記す石碑







正面に見える東屋の左手にある集会場(岩殿会館)付近に阿弥陀堂があったという



阿弥陀堂の板石塔婆の説明板(劣化して字がよく読めない状態であった→早急にメンテナンスが望まれる)



阿弥陀堂の板石塔婆

阿弥陀堂の板石塔婆は、
胎藏界大日如來の御
證法如の四行の法華經の御文が刻まれて
即身證法如 土入秘教王之尤本者
性普門世界

高さ二・六一m、幅〇・五一m、
運台の上の種字は胎藏界大日如來の御
その下には、「真言不思議觀詞無別法」
証法如の四行の法華經の御文が刻まれて
さらに、「于時応安元年八月二日成道如來
の碑文を中心に右左に五十余名の法名と、「土入秘
教王之尤本者求如之説國性普門世界他所也」の
碑文が見られます。

これらの碑文から、無明超上人が同門の諸位、
其言密教の功德をあらわしたもので、応安元年
(一三六八年)に建立したものとす。

昭和五十二年三月

東松山市教育委員会

劣化防止のため、
よしのり

板石塔婆は東屋の後ろの斜面にあった



阿弥陀堂の板石塔婆



1368年造立/東松山市指定文化財





左手の方角に正法寺(岩殿観音)がある



左手の方角に足利基氏館跡がある

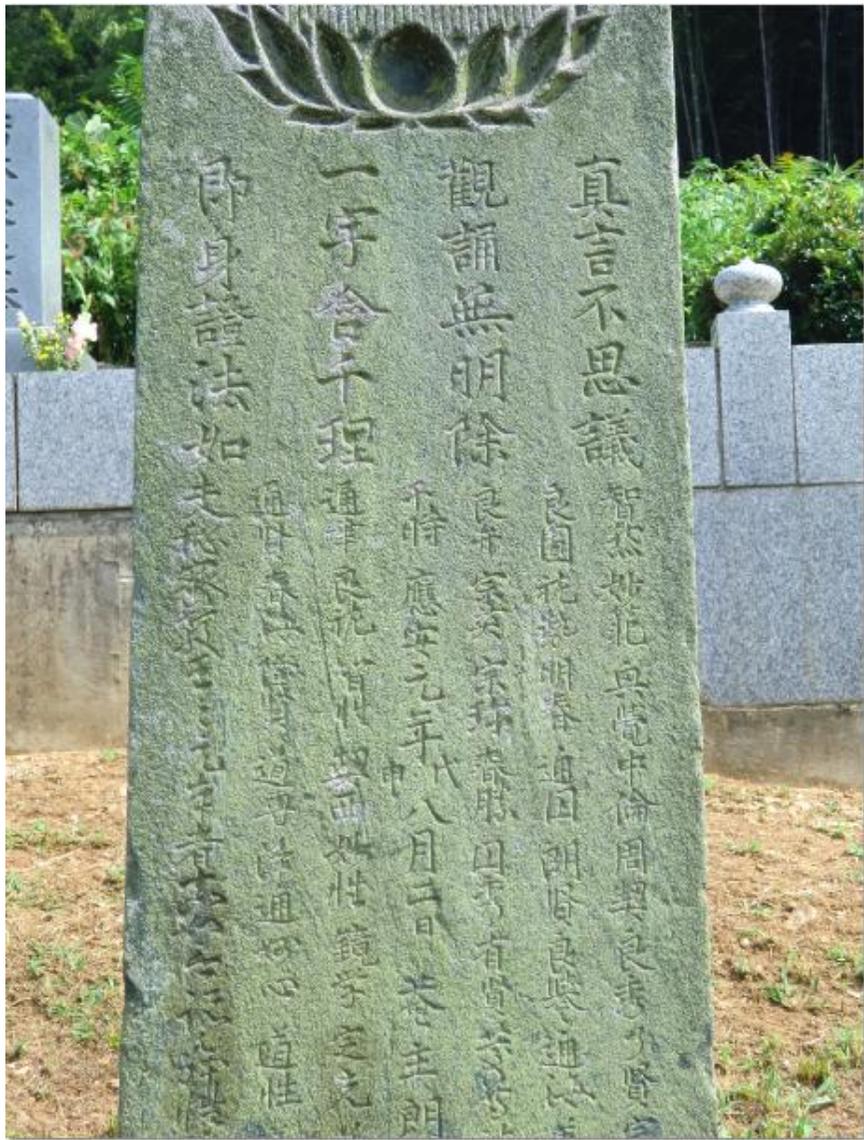


右手前方には大東文化大学東松山キャンパスが見える









真言不思議

智然妙北與覺中倫周與良步少賢
良圖花與明春通回朝昏良舉通

觀誦無明餘

良年家名宗持壽財因有有資公
平時應安之年代八月廿日 卷主明

一字含千理

通華院院有知曲外性鏡字之
通年通年通年通年通年通年

即身證法如

走後後後後後後後後後後後

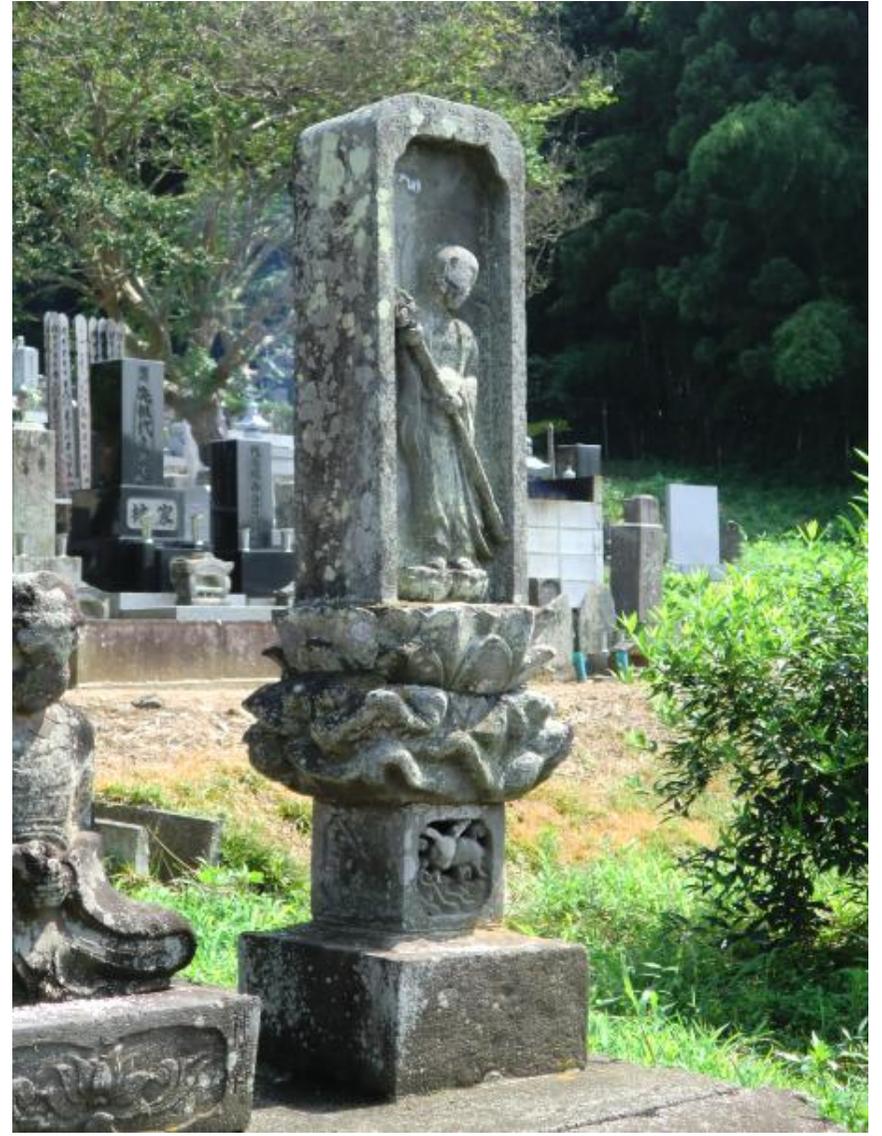
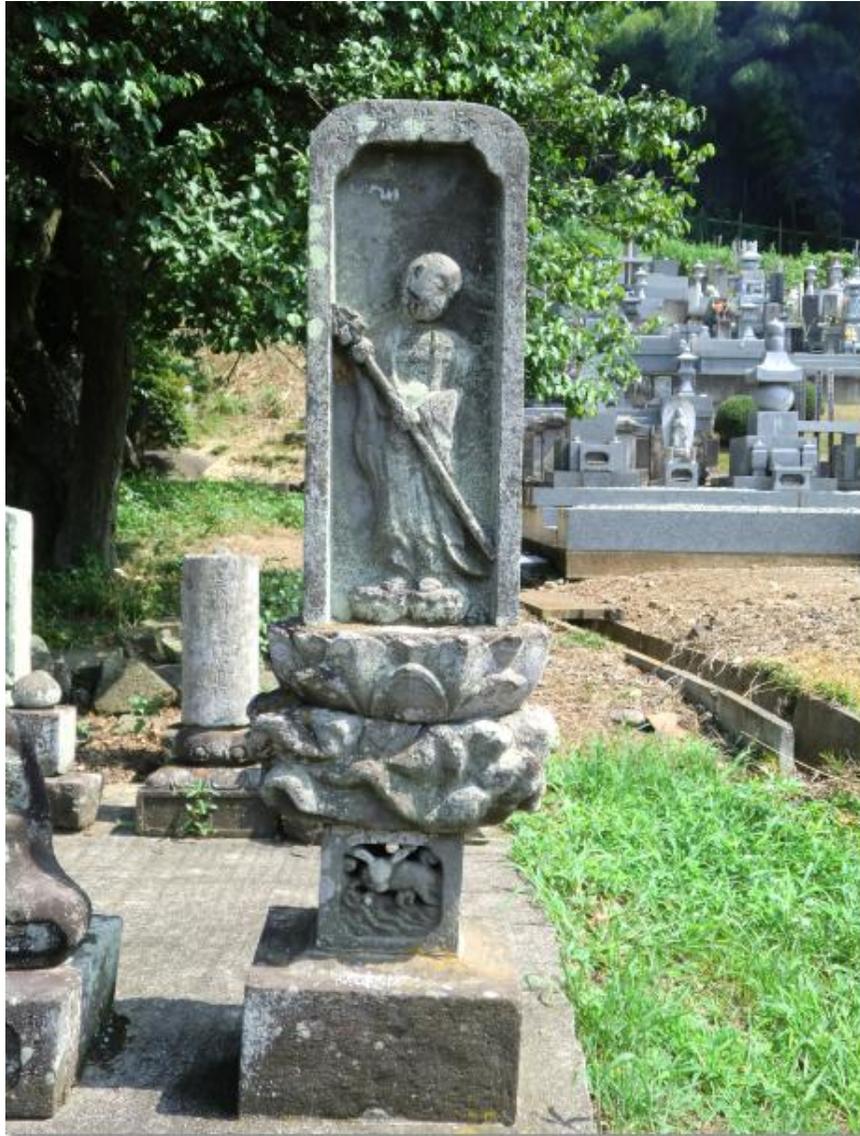
東屋横にはこんなに沢山の石仏が並んでいました







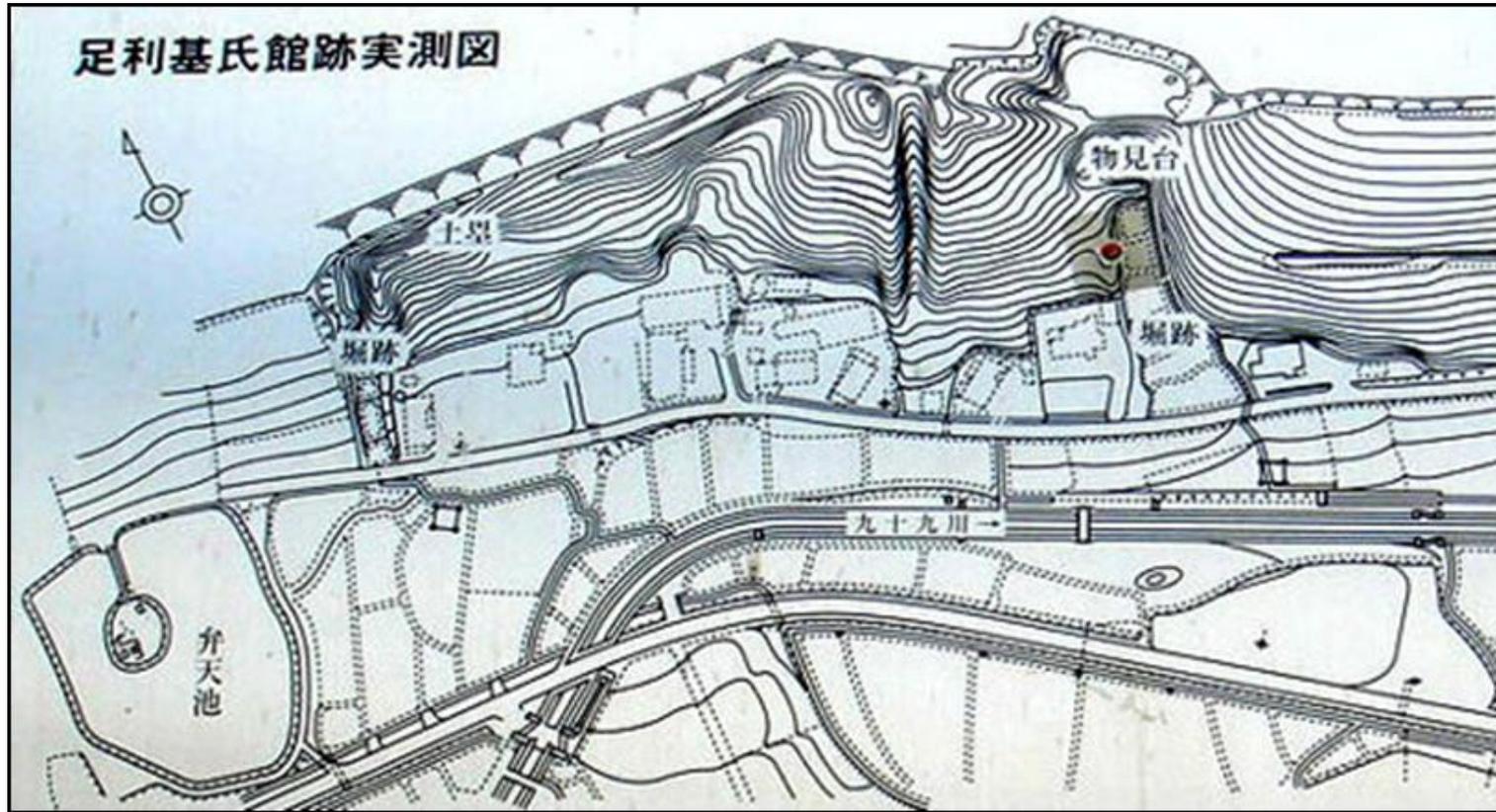






足利基氏館跡

埼玉県東松山市大字岩殿字油免1051周辺



↑
弁天沼

↑
堀跡①

↑
堀跡②

ホームページより

堀跡①

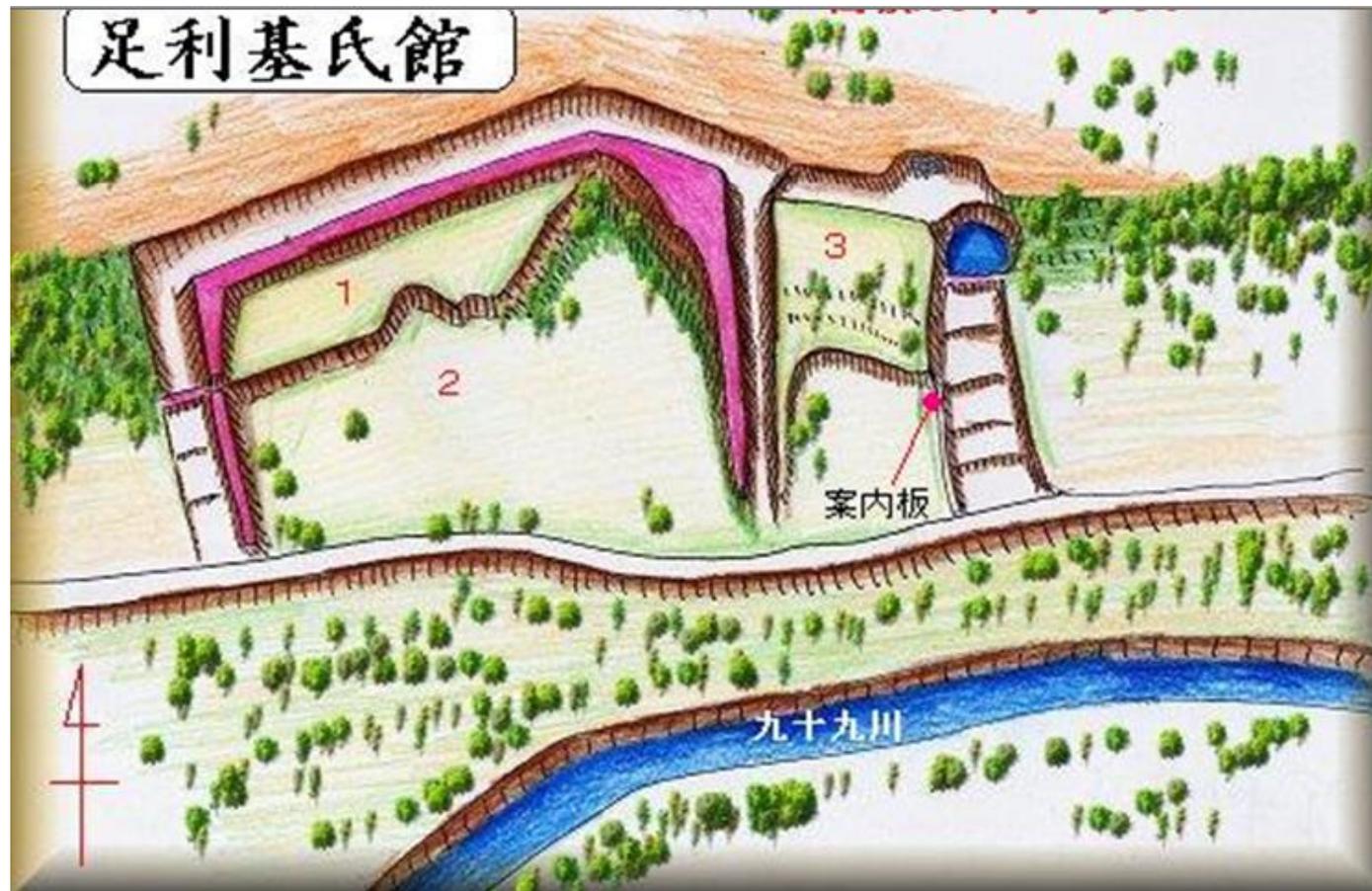






土壘





インターネット/余湖くんのお城のページより

標柱がある





堀跡②





案内板がある



東松山市指定文化財
足利基氏の塁跡

昭和四〇年八月一〇日指定

足利基氏は、鎌倉公方と呼ばれ、南北朝時代に活躍した武将で、足利尊氏の次男として暦応三年（一三四〇）に生まれました。館の跡は、高取台地西側の斜地に立地し、九十九川に向かって下り、南面が大きく開口しています。北と東西に土塁跡、東西に堀跡が残っています。館は堀を含めると東西一八〇m、南北八〇m前後の規模とみられ、北面中央部の東寄りが出出した形となつています。このすぐ東側で北と東の土塁の交点には、物見台とみられる高まりがつくられています。

東と西側の土塁の外には、現在、水田となつた水堀が往時の面影を伝えています。南面は後世に大きく変化していますが、九十九川と谷筋の湿地が外敵を防ぐ役割を果たしていたとみられます。

『新編武蔵風土記稿』にも記載されていますが、この館跡は足利基氏が貞治二、天平一八年（一三六三）に反乱をおこした、芳賀高貞（宇都宮氏の一族で下野国の豪族）と、いわゆる「岩殿山合戦」を行った時に布陣した場所と、本陣がおかれた可能性が高いと思われれます。

しかし、基氏は長期の滞在はせず、すぐに下野国に陣を進めています。そのためこの館は合戦の時に基氏が築いたものではなく、地元豪族が造った館を陣地として利用したものと思われれます。

平成一五年三月

東松山市教育委員会

文化財を大切にしましょう



土墨



物見台方向/この奥は高坂カントリークラブの敷地



正面は正法寺(しょうぼうじ)方向



鐘楼が見える



赤い印が足利基氏館跡の位置



ホームページより

http://castle.slowstandard.com/10kanto/13saitama/post_697.html

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/higasimatuyamasi.htm>